

宮城県特別支援教育将来構想の概要

I 特別支援教育将来構想の策定について

本県においては、平成17年に「宮城県障害児教育将来構想」を策定し、インクルーシブ教育システムを先取りする形で障害のある子どもと障害のない子どもが「共に学ぶ」教育環境づくりや「生きる力」を培う教育を進め、一定の成果を挙げてきた。

一方、我が国においては平成19年に学校教育法等の一部が改正され、また、この10年間で、特別支援教育についての県民の理解も進み、特別支援学校への入学を希望する児童生徒数が増加しているほか、発達障害など、小・中、高等学校等に在籍する特別な支援を必要とする子どもたちに対する教育的ニーズが高まっている。

こうしたことから、インクルーシブ教育システムの構築という世界の流れと、本県におけるこれまでの取組や新たな課題も踏まえ、共生社会の中で、障害の有無によらず、全ての児童生徒の心豊かな生活を目指し、一人一人の教育的ニーズに応じた適切な教育に向けた「特別支援教育将来構想」を策定する。

II 現構想における取組の成果と課題

III 各学校等の現状と課題

1 小・中学校

特別な支援を必要とする児童生徒数の増加、特別支援教育の校内体制整備、教員の専門性、個別の教育支援計画と個別の指導計画の作成と活用

2 特別支援学校

知的障害特別支援学校の狭隘化、知的障害以外の特別支援学校、進路指導の充実、教員の専門性、軽い知的障害のある生徒への対応、居住地校学習、センター的機能、適切な就学支援

3 高等学校

特別な支援を必要とする生徒への対応、特別支援教育の校内体制

IV 特別支援教育将来構想の基本的な考え方

障害の有無によらず、全ての児童生徒の心豊かな生活と共生社会の実現を目指し、柔軟で連続性のある多様な学びの場の中で、一人一人の様々な教育的ニーズに応じた適切な教育を展開する。

V 今後の特別支援教育の進め方

目標1【自立と社会参加】

障害のある児童生徒が夢や希望を抱きながら、心豊かな生活を実現するための一貫した指導・支援体制の整備

- 1 乳幼児期（早期）からの支援体制の充実
- 2 卒業後の心豊かな生活への円滑な移行を支援する体制の充実
- 3 将来の自立と社会参加を目指した進路学習の充実

目標2【学校づくり】

障害のある児童生徒の多様な教育的ニーズに的確に対応した体制・環境の整備

- 1 多様な教育的ニーズに応じた学びの場の実現
- 2 学習の質を高めるための教員の専門性向上
- 3 学習の質・効果を高めるための環境整備

目標3【地域づくり】

生活の基盤となる地域社会への参加を推進するための環境整備と共生社会の実現に向けた関係者の理解促進

- 1 共生社会の実現を目指した理解促進
- 2 市町村教育委員会への支援充実

VI 特別支援教育将来構想の施策体系

VII 資料編